

《研修レポート》

平成19年度 新規採用職員研修を受講して

四国運輸局 海上安全環境部

海事技術専門官 日野 隆



平成19年4月2日から5日の午前まで、我々運輸局は地方整備局と合同で新規採用職員研修を受講しました。午前に同期の運輸局の面々と共に辞令を拝領し、そのまま牟礼の研修所に向かうことになりました。しかし意気揚々とはいかずむしろ大きな不安がありました。というのも遅まきながら社会人として正式に働くのは初めてのことであり、全く右も左もわからない中では僅かな好奇心の他は戸惑いとプレッシャーで一杯でした。その上四国に初めて根を下ろすことになった者にとっては、四国に縁のある運輸局、整備局の方々程にはもちろん四国に通じておらず、さらに前述の通り同期の中でもかなり年上の部類に入るので、他の同期の方々と少し気持ちに距離がありました。そこは親切的な同期の方々のおかげもあって食事時間や懇親会などを通じて徐々にコミュニケーションをとれるようになり、プレッシャーが少しずつ薄れていきました。またその中で、縁のある方々に地元である四国に対する愛着を感じ、また自分としても来て間もないこの地を彼らとの交流を通じて少し身近に感じる事が出来ました。

2日から4日の午前までの三日間は整備局と合同で講義を受け、公務員としてのマナーや環境、四国の実態と目標などの概要を知ることができました。公務員として働く者として気を引き締め、これから邁進していこうと改めて思いました。講義の他に懇親会などで運輸局や整備局の幹部や先輩の方々と交流を持ち、公務員として働く思いや貴重な経験談なども伺うことができたのはとても有意義で興味深いものでありました。

4日の午後からは運輸局の分科会ということで整備局とは別行動になり、屋島を案内して頂くことになりました。そこで屋島の変遷と現在の取り組みなどを見聞し、研修センターに戻ってから屋島のこれからについて互いに意見を出し合いました。その場では四国外の人間としてあえて少し厳しい意見も出しましたが、この指摘が今後四国にとってよりよい方向に作用することを願ってのことでした。

5日の午前は再び分科会ということで、整備局並びに研修センターの方々にここで別れを告げ、電車で鬼無の運輸支局まで行きました。途中の瓦町駅での乗り換えの際にバリアフリーの取り組みについての成果を説明していただきました。公務員として、地域の方々と協力してよりよい環境作りに尽力できることを感じました。支局では自動車検査の内外を案内して頂きました。今までよく知らなかった自動車検査について手続きや処理、検査現場などを丁寧な説明による知見を得ることができたのはとても貴重な体験だったと思います。

この分科会で運輸局としては終了した研修ですが、整備局の方々はその後も研修の続きを受講されて、四国の良さを再確認すると共によりよい四国のために公務員としてどうあるべきかという使命感を改めて感じられたのではないかと思います。

研修を終えて早二か月、あっという間に過ぎてしまいましたが、今でもしっかり残るこの研修で培った経験を元に地域と共に成長していきたいと思っています。

最後になりましたが、この研修に関わりお世話になった皆様に御礼申し上げます。誠に有り難うございました。